



# はま なし

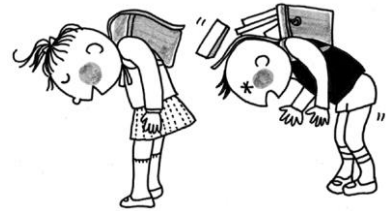
鶴岡市立西郷小学校 学校だより  
令和元年度 第4号 (2019. 7. 25 発行)  
～家庭・地域とともにある西郷小学校～



71

## 日間勉強した 第1学期が終了!

梅雨明けも間近でしょうか。晴れ間の日差しには真夏の力強い輝きを感じます。今学期も保護者・地域の皆様からの温かいご理解と献身的なご協力により、109名の全校児童は笑顔で元気に学校に通ってくれました。改めまして皆様からの声かけ、見守り等に感謝いたします。



今学期は4月の始業式で「自分の命を守ろう」「元気にあいさつをしよう」「全校のみんなを大事にしよう」と話しました。折に触れて、このキーワードを子供たちに示し、意識付けを図ってきました。児童会のスローガンも『やさしさあふれる□っこりあいさつ、□っかりえしゃく、□きげんになるよボランティア、□るさくしないで右側をあるこう がんばろう! パーフェクトスマイル』と、今年度がんばる点をわかりやすく示し、子供たち自ら意識しながら生活を送るようにしてくれました。6年生が率先して取り組むことで、笑顔で自然にあいさつを交わし、落ち着いた行動の子供が着実に増え、校内には穏やかで温かな雰囲気があります。

こうした環境が、個々の子供たちの学力や運動能力を伸ばし、校外学習や学校行事でも仲良く集団で学ぶ良さを支えています。

- ①相手の目を見て、相手に伝わるように、自分からあいさつ・会釈ができること。
- ②109名みんなが学ぶ場としての西郷小学校として、そのルールは遵守すること。
- ③誰にでも優しい心で接し、「いじめ」につながるような言動は決してしないし許さないこと。

次学期もこうしたことを大切に、そして当たり前前の行動として「丁寧に物事に接することができる子」となるように、学校運営の様々な場で取り上げていきたいと考えています。こうした基盤がしっかりとすることで、子供たち自ら学習に向かう気持ち、様々なことにチャレンジする意欲につながるものと確信しています。

## わ あ〜い 夏休みだ!!



子供たちにとって楽しみにしている「わくわく」の夏休みがスタートします。子供たちが豊かな体験を積み重ね、思い出ippaiの有意義な夏休みになるよう願っています。

### ▶▶ 《自然体験・社会体験にチャレンジ》 ～普段はできないことを～

海・山・川などの「自然は、人間の心と体を創る神様である」といわれています。たっぷり体験活動を行う絶好の機会とさせていただきます。各家庭お忙しいと思いますが、様々なイベントや体験教室を上手に活用して、普段できないことにチャレンジしてみたいはいかがでしょうか。

### ▶▶ 《学習習慣の形成》 ～普段からしていることも～

「取り組む時間を決め」て、「誰か大人が見守る」ことが子供の学習習慣形成には大切だと言われています。大人の見守りは難しい部分もあるでしょうから、お子さんと学習に取り組む時間をしっかりと約束し、その振り返りを行うことで日々の取り組みの励ましをお願いします。



「イワナ捕ったぞ!」  
5年大鳥冒険キャンプ